

大阪樟蔭女子大学 心理学科
平成27年度 小阪キャンパス移設記念 プレ・シンポジウム

地域と連携する心理学

日時 3月5日(木) 10時～12時

場所 小阪キャンパス 記念館1階 183教室

参加費無料

奥田 亮
小・中学校
保健室登校児童・生徒への
「心のケア支援事業」について

話題提供者

坂田 浩之
不登校児童通所ルームの
運営とスタッフ育成

田中 瑞紀・大野 菜純 (予定)
臨床心理学専攻大学院生による
事業報告

佐久田 祐子
ビジネスに活かす心理学
—社員のストレス対策、
商品開発への応用—

山崎 晃男
認知心理学を
応用した
学習方法の指導



樟蔭学園は創立100周年

100th

Anniversary in 2017

平成 27 年 4 月に、大阪樟蔭女子大学の心理学科は、学芸学部心理学科として東大阪市に移ってまいります。そのプレ企画として、心理学科の自己紹介の意味も込めて「地域と連携する心理学」というシンポジウムを企画いたしました。

心理学科では「社会で生きる心理学」をテーマに、学生教育と地域貢献の両面から地域との連携をこれまで以上に図っていきたくと考えています。本シンポジウムでは、心理学科教員や大学院生が自分の専門やこれまでの地域連携経験を踏まえて、心理学科として実施可能な地域連携活動の例を提示するとともに、地域の皆様からのご意見をいただきたいと考えています。

地域と連携する心理学

奥田 亮 (准教授)

小・中学校保健室登校児童・生徒への「心のケア支援事業」について



本学大学院臨床心理学専攻では、奈良県香芝市の「心のケア支援事業」に携わり、保健室登校児童・生徒に対する心理的サポートを行うため市内小・中学校に大学院生を派遣しています。この事業の開始当初の経緯及び活動について、学校との関わりを中心にお話しします。

坂田 浩之 (准教授)

不登校児童通所ルームの運営とスタッフ育成



本学は、学校法人としては唯一、大阪市から委託されて不登校状態にある中学生が心理的支援を受けられる通所ルーム（適応指導教室）を5年間運営してきました。このような施設の運営ではスタッフの確保と育成が鍵となります。本学における取り組みの特徴とスタッフ育成の秘訣についてご紹介いたします。

田中 瑞紀・大野 菜純 (予定)

臨床心理学専攻大学院生による事業報告

本学で臨床心理学を専攻する大学院生による2つの事業についてご報告します。

①香芝市の小中学校で保健室登校をしている児童生徒への心のケア支援事業
②カウンセリングセンターで行っている「検査モニター」：幼児期から中学生までのお子さんに発達検査を受けてもらい、検査を通して「お子さんのよいところをみつけてもらう」事業

佐久田 祐子 (准教授)

ビジネスに活かす心理学
—社員のストレス対策、商品開発への応用—



企業の活動を活性化させるためには、それに携わる人が心身ともに元気であること、顧客の心をしっかり掴むことの2点が重要になります。そこで、働く人の心の健康を良好に保つためのプランをご提案するとともに、本学心理学科が現在企業と連携して行っている商品開発事業内容をご紹介します。

山崎 晃男 (教授)

認知心理学を応用した学習方法の指導



日常的な学習活動の中で「勉強の仕方が分からない」「勉強をしているのになかなか成果があがらない」といった悩みを持つ子ども（大人も）は多いと思います。記憶・理解・学習といった認知活動について研究する認知心理学の知見を応用した学習方法の指導についてお話しします。

場 所 大阪樟蔭女子大学小阪キャンパス 記念館 1階 183 教室

定 員 60 名 **対 象** 一般社会人、大学生、高校生 **参加費** 無料

申 込 本学ホームページ、メールもしくは FAX にてお申込みください。住所、氏名(フリガナ)、電話、FAX 番号、メールアドレス(お持ちの方)を明記してください。折り返し受講案内をお送りします。

樟蔭ホームページ申込みフォームからお申込み：パソコンから樟蔭ホームページにアクセスし、公開講座ページの申込みフォームに必要事項をご入力の上、送信してください。

メールでのお申込み：shinri-ken@osaka-shoin.ac.jp FAX でのお申込み：0745-71-3142

申込締切 3月4日(水)

主 催 大阪樟蔭女子大学 心理学部研究事務室 TEL:0745-71-3137 / FAX:0745-71-3142 **問合せ** 大阪樟蔭女子大学心理学部

小阪キャンパスへのアクセス

近鉄奈良線
「河内小阪駅」下車
西へ徒歩4分(300m)
JR おおさか東線
「JR 河内永和駅」下車
東へ徒歩5分(400m)

